

随意契約結果書及び契約の内容

業務の名称	令和２年度 河川水辺の国勢調査（ダム湖版）総括検討業務
業務概要	本業務は、良好な河川環境の整備及び保全に資するべく、令和元年度に全国の直轄管理ダム等で実施された「河川水辺の国勢調査（ダム湖版）」の調査結果を収集整理し、データの精査・分析・取りまとめを行ってデータベースの更新を行うとともに、調査結果を用いてダム湖及び周辺環境の現状把握やダムによる環境変化を分析することを目的とする。また合わせて、令和元年度に実施したダム湖利用実態調査結果を収集整理し、分析・取りまとめを行うとともに、多自然川づくりを基本とする河川・ダム管理における環境DNA調査の活用の可能性の検討及び環境DNAの現地調査を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の氏名及び所在地	支出負担行為担当官 四国地方整備局長 小林 稔 四国地方整備局 香川県高松市サンポート３番３３号
契約年月日	令和２年６月１７日
契約業者名	（一財）水源地環境センター
契約業者の住所	東京都千代田区麹町２－１４－２
契約金額	35,530,000円（税込み）
予定価格	35,838,000円（税込み）
落札率	99.14 %
随意契約によることとした理由	本業務は、良好な河川環境の整備及び保全に資するべく、令和元年度に全国の直轄管理ダム等で実施された「河川水辺の国勢調査（ダム湖版）」の調査結果を収集整理し、データの精査・分析・取りまとめを行ってデータベースの更新を行うとともに、調査結果を用いてダム湖及び周辺環境の現状把握やダムによる環境変化を分析することを目的とする。また合わせて、令和元年度に実施したダム湖利用実態調査結果を収集整理し、分析・取りまとめを行うとともに、多自然川づくりを基本とする河川・ダム管理における環境DNA調査の活用の可能性の検討及び環境DNAの現地調査を行うものである。 本業務を遂行するためには、高度で専門的な技術が要求されることから公平性・透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式による選定を行うこととした。 公募による技術提案書の提出を求めたところ１者からの提出があり、総合的に評価した結果、求める業務内容に合致し、優れた提案を行ったと認められた上記業者を特定したものである。 よって会計法２９条の３第４項及び、予算決算及び会計令第１０２条の４第３号により、随意契約を行うものである。
業務場所	四国地方整備局
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	令和２年６月１８日
履行期間（至）	令和３年２月２６日
再就職の役員の数	
備考	「入札情報サービス（PPI）（ http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ）にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。」